

12. 美深から当麻・天人峡そして芦別岳登山口へ

● 8月17日（水）

美深から当麻へ

晴

・4時半に目が覚めて空を見ると雲が切れて青空も見えている。やっと天気が回復してきたか。車の込み合っている道の駅の駐車場から、キャンプ場横の広い駐車場に車を移し、のんびりと朝食をとった。すぐ横に袖ヶ浦ナンバーの軽のワンボックスカーがやってきて、おじさんが話しかけてきた。男の一人旅だという。気が合っているいろいろと話をした。昔の道の駅はこういう人ばかりで、朝の会話が楽しかったのを懐かしく思い出した。雲が切れて久しぶりに太陽が顔を出し暑くなってきた。



・天気回復の兆しが出たので、南下して芦別岳を目指そう。

まず初回北海道山紀行の時通った懐かしい朱鞠内湖に向けて出発した。前来た時は大雨で車の外にも出られないほどだったが、今日は天気がよくて、高台の駐車場から湖が一望できる。



静かで美しい湖だ。しばらく休んでから幌加内へ向かった。

・初めての北海道山紀行のときに泊まった懐かしい道「森と湖の里ほろかない」へ着いたが、なんと寂しい駅か！ 小さな駐車場に車が数台しか止まっていない。以前よくこんなに寂しい駅に泊まったものだと思った。隣接するルオント温泉に行ったら「水曜日定休」ということで今日は閉まっていた。なるほど温泉は休みでレストランもしまっているから人がいないのか。それにしても寂しい。



・天気はすっかり回復し、真夏の太陽が照りつける中、剣淵に昼前に

到着。駐車場に止めて昼食。風が涼しいので車の窓を全開して昼寝した。13時過ぎ、昨日来た道を当麻へ向けてのんびりと走った。

・当麻が近くなったら「旭川空港」という標識が出てきた。当麻、旭川は毎年来ているのに空港へは行ったことがない。まだ時間が早いし、天気もいいので空港へ行ってみることにした。懐かしい東川方面へ約20km、大雪山系を遠くに見ながら空港へ。空港は予想通り小さくて駐車場も有料なので、降りることなく一周して当麻へひきかえした。



・まだ3時過ぎで日差しが一番強いとき、いつも止めている私のスペースに駐車してやれやれ。駐車場には今日も福山のお兄さん（松永さん）は見えない、ちょっと寂しい気分だ。あまりにも良い天気なので久しぶりで洗濯をした。といってもこのところ山に登っていないし、ずっと雨で涼しかったので洗濯物はあまり無い。日が傾いて涼しくなってきた頃東屋でビールを飲み



始める。今日の泊り車は殆ど居ないな。足立ナンバーのBOXYが入ってきた。私と同じくらいの年配で一人旅らしいが、殆ど会話も無く車の中で食事をしている。東屋に来て一緒に飲めばいいのにと思いながら夕食をとり、今日も暮れた。

● 8月18日（木） 当麻から天人峡そして太陽の里 曇

・昨夜はあんなに天気が良かったのにあさ5時に起きると空はどんよりと曇っていて気温も寒いので長袖を着込んだ。朝食の準備をしていると福山のお兄さん（松永さん）が軽自動車で作ってきた。やはり今年も来ていたのだ。一年ぶりで再開できて良かった。今年は滞在場所をこの駐車場から下のテニスコートに移したとのこと。しばらく話をして下へ戻っていった。来年は来られないかも知れないとのことだった。私も今年で北海道は終わりにするかな。

・朝食後パソコンを少しやってから、出かける用意。明日は天気が良さそうなので念願の芦別岳に登れそうだ。今夜は登山口の「太陽の里」に泊まることにするが、すぐ近くなので、これから出かけたなら午前中に着いてしまう。どこか寄り道をしながら

らゆこうと思って探したら、旭岳の麓にある天人峡へまだ行ったことがないので、そこに寄ることにした。

・ 8時過ぎに当麻の駐車場を後にして、東川を目差して南下した。天気は曇りで気温17度、なにしろ寒い。(北海道は太陽が出ないと気温が低くて寒いです。) 東川は写真の町で、毎年のように来てカメラコレクションを見て楽しんでいるが、今年も楽しませていただいた。ここから西へ走って天人峡へ向かう。東川を出てすぐのところに素晴らしい駐車公園があった。これは今後大雪山へ入るのに十分使えそうだ。



素晴らしい駐車公園

・ 今にも降りそうな空の下、忠別湖の南岸を通って天人峡へ11時前に到着。天人峡温泉の入口の駐車場に車を止めて、羽衣の滝まで15分くらいの散策。天人峡は早雲峡と同じく柱状節理の断崖が続いて見ごたえ満点。羽衣の滝もなかなかのもの、立派な滝だ。観光客もあまりいないのでゆっくりと鑑賞できた。天人峡にはトムラウシ山への北からの登山口があった。



トムラウシ登山口

・ 富良野に来たころには天気が回復し、真夏の太陽が顔を出して、寒さが一転汗をかくほどの暑さになった。日差しを避けて富良野神社の木陰に車を止めて昼食。もう寄るところもないので、太陽の里へ直行し2時に着いてしまった。

管理棟のおじさんに「キャンプ場の駐車場は無料だからそこに止めたらいい」と教えられて、すぐ横のキャンプ場へ回った。広い芝生のキャンプ場で、トイレも洋式できれい、泊まり客はだれもいない。後には芦別岳が聳えて見える良い所だ。



芦別岳が後に聳える

ここは電波が届かずテレビが映らないので天気予報がわからない、今は天気がいいので明日は芦別岳目差して早出するぞ！



太陽の里キャンプ場

今日は早く寝よう、といっても今まだ2時過ぎ、腹も減っていないしどうやって時間を潰そうか。とにかく直射日光が暑いので東屋の屋根の下で日記を書いたり旅の整理をしたり。8月23日小樽港から帰途につくので、小樽のYHに電話して22日夜の予約も取れた。

・駐車場には私の車だけ。5時前からビールを飲み始め夕食に入った。5時過ぎには寝てしまうだろう。さっきまでよく晴れていた空が今はすっかり雲に覆われ、芦別岳の山頂付近も雲で隠れてしまった。明日の天気を信じ、芦別岳を夢見て横になった。